

# Rainbow

All for 六中 ※このお便りは全校向けお便りです。

令和6年2月29日

調布市立第六中学校

校内通級教室

No.5

～六中ユニバーサルデザイン～



学年末考査も終わり、3学期も残り1か月となりました。  
前回の通信では起立性調節障害についてお伝えしました。今回は自閉スペクトラム症についてお伝えします。

## 自閉スペクトラム症

自閉スペクトラム症は、医療、福祉、教育の各分野で定義が異なり、明確な診断基準がありませんが、主に3つの特徴があります。

### 対人関係の障害

1. 視線が合いにくい
2. 気持ちのやりとりができない
3. 状況や場の空気が読めない
4. 結果として友達ができにくい
5. 集団活動に参加できない

### コミュニケーションの障害

1. 回りくどい、細かいところにこだわる
2. 一方的、話が飛びやすい
3. イントネーションや発声が不自然
4. 敬語が使えない/誰にでも敬語
5. 字義通りに理解する
6. 冗談や皮肉が理解できない



### こだわり・同一性保持

1. 特定の物への没頭と博識
2. 特定の行動パターンへの固執
3. ごっこ遊びや創造的遊びの乏しさ
4. 予定の変更について行けない
5. 思い通りにならないと気が済まない

また、文部科学省からも「児童生徒理解に関するチェック・リスト」が作成されていますので、こちらからご覧ください。

[https://www.palmclinic.net/wpcontent/themes/mymall/img/consultation/checklist\\_school.pdf](https://www.palmclinic.net/wpcontent/themes/mymall/img/consultation/checklist_school.pdf)

支援の基本として、わがままではなく、個性として捉え、それに見合った工夫が必要となります。こだわりに対しても制止せず、良い意味でこだわりを大切に、何かに生かすことが重要です。また、環境調整やソーシャルスキルトレーニング、コミック会話等、医療と連携した支援も行われています。

参考文献 「S.E.N.S 養成セミナー 発達障害と医療」

平林伸一・小野次朗

## ケース 紹介(過去の支援例)

クラスでの様子➡Aさん(当時中1)中学校入学時から、その場の状況や空気が読めず、いつもクラスの中で周囲から厳しく責められていました。本人もなぜ、責められるかがわからず、嫌な気持ちで登校することが増えていきました。さらに学校の校則や臨機応変な対応(衣替えの時期、水泳授業後のタオル使用など)が必要な時も、すぐに周囲に注意して、言い争うことも多くなりました。

通級での様子➡1週間の振り返りで、クラスでの出来事を整理する時間を設定し、イラスト等を用いて状況理解できるようにし、どのような行動をとることが適切なのかを一緒に考えました。中学校での校則についての例外や、授業内容によっては、特別なルールもあることを繰り返し伝えました。



夏休みの宿題の職業調べでは、大好きな自衛隊を選んで取り組み、車や飛行機の写真と詳しい解説等を一生懸命まとめて提出しました。夏休み後、担任もクラス全員の前で褒め、クラスメイトもAさんの努力を認め賞賛しました。次第にクラスメイトからも、Aさんはこんな人なんだと認められるようになり、クラスでの行動も落ち着いてきました。

その後、2年生、3年生に進級してからも、通級に通いながら、クラスでの学習や行事にも一生懸命取り組むことができました。

学級と通級との連携で、ソーシャルスキルトレーニング等を学習し、少しずつ状況理解ができるようになってきました。宿題ではAさんの得意なことが生かされ、その結果がクラスで評価され、認められるようになってきました。

子供の状態を個性として受け止め、あたたかく見守っていきよう

引き続きサポートしていきます。



☆お子様のことでご心配なこと等ありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。

第六中学校 校内通級教室主任(特別支援教育コーディネーター) おもと 尾本 保明

□□□□

□□□□

□□□□

□□□□

□□□□

□□□□

